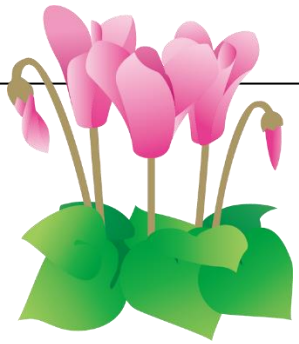
長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ32

12月 今日の一言



４．１２．８　校長　渕上　卓也

寒い中でも、心がホッカホカ

１２月になり、一気に寒さが増した感じです。写真は、渕上が毎朝立哨指導をしている場所です。たくさん着込んで気合を入れて現場に向かっています。

立哨指導を続けて、毎朝子どもたちに会っていると、寒い中でも心がホッカホカになる出来事があるのです。今日は、そんなお話を二つします。

まず、滑石っ子２年生の話です。この子は、代休日（滑石っ子発表会の翌日）の話をしてくれました。学校はお休みだったけれど、学童があるので、いつものように学校へ向かったそうです。学校はお休みなので、いつも立ってくださる地域の方も渕上もいません。でも、この子は、いなくてもいるつもりで、私たちが立っている場所で、「おはようございます。」とあいさつをしてくれたそうです。うれしいですよね。学校へ行くときはに元気なあいさつをすることが、日常になっていることが・・・。もちろん、いる時もしっかりと元気なあいさつをしてくれます。すばらいしい！！

また、こんなホッカホカな出来事もありました。通学途中で転んだのでしょうか、１年生が、膝を擦りむいて泣きながら歩いてきました。私に報告してくれた滑石っ子５年生と、傍に寄り添って歩いてきてくれた滑石っ子６年生。渕上は傷の様子を見て、養護の先生に連絡を取ったあと、この子たちに「保健室まで連れて行ってくれるかい。」とお願いしました。「はい。」という元気な返事をして、励ましたり荷物を持ってあげたりしながら、保健室まで連れて行ってくれました。優しい滑石っ子たち、ありがとうございました。

日々繰り広げられる通学路のホッカホカドラマ。明日はどんなドラマが見られるのかな？滑石っ子に心をホッカホカに温めてもらうために、明日も立哨指導に出かけます。

＜今日の一句＞

優しさに
溢れた朝の
通学路　　卓也